

日時・場所	平成29年11月20日（月） 8時45分～ 庁議室
出席者	山仲市長、大藤議会事務局長、寺田政策調整部長、上田総務部長、田中市民部長、瀬川健康福祉部長、辻村健康福祉部政策監、小山都市建設部長、遠藤環境経済部長、竹中教育部長、川端会計管理者、北脇広報秘書課長、事務局（企画調整課）

1. 市長指示事項

- ・ 中期財政見通しを作成したが、いわゆる「成り行き推計」であり、今後の社会保障費の増大を見込んでいるため、結果的に厳しくなっているという前提を理解しておくこと。
- ・ 担当課から経営改善の考え方の提示があったので、とりあえず暫定という形で動かしていく。無駄を省くということが示されていたが、無駄を省くというよりは、これまでどおり、優先度の高い取組を進めることを前提とすること。何のために無駄を省くかが重要であり、中期財政見通しと併せて、いわゆるポジティブな姿勢で仕事をする中で、結果的にスリム化を図ることができると認識すること。
- ・ 各学区の自治連合会との行政懇談会が実施されているが、回答が言い訳にならないようにすること。自治会や市民が何を求めているのか、同じ立場に立って一緒に解決する意識を持つこと。以前から、あやふやな答えは止めるよう言っているので、理由を明確に示さないまま、できる、できないといった結論を出すことで、いかにも答えになっているようにみえる場合がある。要望なり課題が何なのか、自治会や市民と同じ立場で解決できるかできないかという視点を持つこと。答えるというよりは取り組むということに主眼を置いて対応すること。

2. 報告事項

① 国道8号野洲栗東バイパス関連用地にかかる下水道事業計画決定について

[所管： みず事業所]

国道8号野洲栗東バイパス建設による大規模工場の一部移転に伴い、約6.3haを下水道事業計画区域に追加する。12/19に開催される都市計画審議会において、公共下水道の都市計画決定の変更について、審議していただく予定である。

→当区域からの接続先は。

→県道直下の流域下水道へ接続する。

→流域下水道への接続が適切に行えるよう、事前に県と十分に協議すること。

< 前回報告事項の修正 >

① 平成29年度野洲市中期財政見通しについて

[所管： 政策調整部]

再度精査した結果、歳出に関して、補助費（経費の計上漏れ）、公債費（借入分の経費の二重計上）、人件費（補正率（乖離率）を適用）の3点について修正し、繰入金を調整した。

結果的に、平成34年度の基金残高見込みについて、前回は約7億円であったが、若干増えて約9億円となった。ただ、この先、基金が目減りする状況に変わりはないので、その点を踏まえ、今後の財政運営にあたっていく。

② 平成29年度の予備費充用一覧について

[所管： 政策調整部]

INAS2017世界水泳選手権大会へ市民が1名出場されるにあたり、激励金を支給するため、障がい者福祉費で1万円増額し、総額を625万7千円に修正した。

3. 協議事項

なし

4. その他伝達事項

- ・ 高齢者のインフルエンザ予防接種について、例年10月から12月までの間、公費助成を行っているが、現在、ワクチンの供給が見込めない状況であるため、草津市、栗東市、守山市とも調整し、来年1月末まで助成期間を延長することとした。今後、市内診療所と調整後、広報、ホームページでお知らせする。
- ・ 商工会との行政懇談会が12月15日に開催される。各部、11月27日までに、要望に対する回答案の提出を願う。

5. 次回部長会議の予定

11月27日（月） 8時45分～ 庁議室